

衆議院青少年問題に関する特別委員会ニュース

平成 22.4.8 第 174 回国会第 3 号

4月8日(木) 第3回の委員会が開かれました。

1 青少年問題に関する件

- ・福島国務大臣(少子化対策担当)、泉内閣府大臣政務官、小川総務大臣政務官、高井文部科学大臣政務官、山井厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

黒田 雄君(民主)

- ・子どもの貧困問題において、貧困の世代間連鎖の実態に鑑み、子どもの貧困問題解消に向けた総合的施策の必要性について大臣の見解を伺いたい。
- ・専門的・医学的対応が必要な子ども達へのケアのため、情緒障害児短期治療施設等を一定エリアごとに整備すべきと考えるが、厚生労働省の見解を伺いたい。
- ・子どものいのちを守るため、地域における児童相談所の機能強化への取組の現状はどのようになっているのか。

室井 秀子君(民主)

- ・子ども・若者ビジョンの骨子案を見ると、理念に「子ども・若者を大人と共に生きるパートナーとして尊重」とある。学級崩壊などの事件が起きると、子どもに権利を持たせすぎるとのではないかと意見も出てくる中、このような理念とした具体的理由を大臣に伺いたい。
- ・子ども・若者ビジョンにライフスキル教育の導入を盛り込むべきであると考えているが、大臣の見解を伺いたい。
- ・各省にまたがる職業訓練費や私学助成等を充実するとともに、短期大学や専門学校をそれぞれの特徴を活かして職業訓練教育を行うセーフティネット機関として、若者の再チャレンジを支援するための機能を付与する政策が必要と考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。

大山 昌宏君(民主)

- ・地域社会全体で子どもを育成することの意義について大臣の見解を伺いたい。
- ・放課後子どもプランと地域の子ども会活動のすみ分けの現状はどのようになっているのか。
- ・青少年育成国民会議の解散後、同会議の下部組織である青少年育成都道府県会議及び青少年育成市区町村民会議に対する国からのサポートは継続されているのか。

吉泉 秀男君(社民)

- ・子ども・若者ビジョン策定に向けての大臣の基本方針を伺いたい。
- ・性教育において、「命を育む」重要性を子どもたちに訴えていくことについて、文部科学大臣政務官はどのように考えているのか伺いたい。
- ・児童福祉司の増員を含めた児童虐待防止対策の強化に向けて、どのような検討を行っているのか。

馳 浩君(自民)

- ・「こうのとりのゆりかご」は、法律上、どのように位置付けられるものなのか、政府の見解を伺いたい。
- ・「こうのとりのゆりかご」を法的に子どもの緊急避難・保護する施設として位置付ける必要があるのではないかと伺いたい。
- ・法人を未成年後見人として認める法改正が必要な事例が多々あるが、現在、どのような検討が行われているのか伺いたい。
- ・子ども手当を、子どもに直接支給する法制度の整備が困難である理由について伺いたい。
- ・放課後児童クラブに関する基本法を制定し、放課後の子どもたちの安全な遊び場の確保を推進していくことに対する大臣の所見を伺いたい。

あべ 俊子君(自民)

- ・最近の若者の就職動向は、大手志向・安定志向を強めているが、一方で人手不足で悩んでいる分野や中小企業も少なくない。このような雇用のミスマッチを解消するためにどのような対策を行うつもりか。
- ・最近の10年間では、ニートやひきこもりの数に改善の動きが見られない。また、中年層の無業者数も増加しており、ニートの高齢化が懸念されている。そうした中で、就職氷河期に正規雇用されなかった若者がニートやひきこもりになる可能性が高いと考えられるが、こういった若者が現在どのような状況にあるか把握しているのか。

- ・虐待を受けて育つとそれが自分の子どもなどへの虐待に繋がるという虐待の連鎖に陥りやすい。これを断ち切るためには、家族の子育てを地域で支えていく必要がある。そのため、地域のネットワークをさらに拡充していく必要があると考えるが大臣の見解を伺いたい。

高木 美智代君（公明）

- ・児童虐待防止を最重要課題として位置づける必要性について大臣の見解を伺いたい。
- ・児童虐待防止に有効と思われるスクールソーシャルワーカーの今後の拡充の目標及び財源の手当について伺いたい。
- ・児童相談所における児童虐待対応件数の増加に比べて児童福祉司数の増加が少ないが、児童福祉司の配置増の必要性について厚生労働省はどのように考えているか。

宮本 岳志君（共産）

- ・子ども・子育てビジョンは、これまで少子化対策として、子どもを生み育てる責任の多くを家庭の自己責任に求めてきた対策から、社会全体で子どもと子育てを支えるという基本姿勢を示したものである認識しているが、大臣の見解を伺いたい。
- ・国や自治体の責任で、妊娠・出産・子育てに関する悩みに適切な相談を受けられるなどのきめ細かい支援を受けられるためのネットワークの形成の現状はどうなっているのか
- ・児童福祉司の配置基準は、現状は人口当たりの人数で決められている。しかし、子どもの最善の利益の観点から、人口以外の要素を基準として、児童福祉司の抜本的な増員を図るべきであるとするが、大臣の見解を伺いたい。

2 参考人出頭要求に関する件

- ・青少年問題に関する件（児童虐待問題）について、参考人から意見を聴取することに協議決定しました。